Miyoshi City News Release



令和5年8月8日

令和5年8月定例記者会見

三次市とHOYA株式会社 アイケアカンパニーとの使い捨て コンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定締結式の開催について

廃棄物の減量及び資源化に資することを目的として、三次市において排出される 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収について、HOYA株式会社アイケアカン パニーとの協定を締結し、次のとおり協定締結式を開催します。

1 日 時

令和5年8月24日(木) 14時30分~15時00分

2 場 所

三次市役所本館3階会議室

3 出席者

HOYA株式会社アイケアカンパニー カンパニープレジデント 橋本 和武(はしもと かずたけ) 様 三次市長 福岡 誠志(ふくおか さとし)

4 協定事項

- (1) 空ケースの回収について、市民等への啓発に関すること
- (2) 空ケースを回収する設備の提供等及び公共施設への設置に関すること
- (3) 回収された空ケースの送付に関すること

5 その他

- (1) 現在35自治体と協定締結されており、広島県内では初の協定となります。
- (2) 市では、市庁舎、市内中学校及び高等学校への設置を予定しています。
- (3) 本協定の取組に関するホームページ https://www.eyecity.jp/eco/



広島県三次市

市民部 環境政策課 環境政策係 (担当:三竿·巳之口) TEL:0824-62-6136 FAX:0824-62-6397



四常

Moch もいため、 アイシティ BCO プロジェクト

コンタクトレンズ空ケースの回収に 関する協定参考資料 「アイシティECOプロジェクト」



適しています*1。そのため、コンタクトレンズ販売店である 使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、ほぼすべての商品が ポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに アイシティでは、2010年より業界初の空ケース回収活動を スタートさせました。

2013年より様々な企業様、学校様と活動をさせていただいて おります。しかし、空ケースのリサイクル比率は未だ全体の2% 2010年~2012年まではアイシティ内のみの取り組みでしたが、 程度にすぎません*2。



累計 (2023年3月末時点)

(空ケース約5億4,400万個分)を 回収しています。



累計 (2023年3月末時点)

,508.89 t-C0₂



累計寄付金額 (2023年3月末時点)

12,117,095 [□]

公益財団法人 日本アイバンク協会へ寄付しました。 リサイクルにより得られた対価の全額を

(東京ドーム 90.3 個分)の二酸化炭素の削減に貢献しています。

これまでの回収量と寄付金額

*1:メーカーやレンズの種類により一部素材が異なることがあります*2:自社調べ「2021年アインティコンタクトレンズ販売実績」より





SDGsの取り組み

SUSTAINABLE GENALS DEVELOPMENT











ジェンダー中等を 実現しよう

4 質の高い教育をみんなに



人や国の不平等 をなくそう

■ 産業と技術革新の 基盤をつくろう

● 働きがいも 経済成長も

∢îi













「SDGs」とは "Sustainable Development Goals" の頭文字をとった略称で、日本語では「持続可能な 開発目標」と呼びます。2015 年に国連サミットで採択されました。その背景には、地球温暖化や食糧不足 貧困、医療設備や教育体制の不足など、地球規模で解消すべき数々の問題があります。

目標(ゴール)と、それぞれのゴールに対して 169 のターゲット (解決すべき課題) が設定されています。 めには「経済」「社会」「環境」という3つの要素が調和していなければいけません。具体的には17の 地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)] ことを合言葉に、国はもちろん企業や自治体 SDGs は、2030 年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標として掲げられており、達成するた レベルでも SDGs に関連した取り組みが推進されています。

(https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html) を加工して作成 ※「持続可能な開発目標SDGsエス・ディー・ジーズとは」(外務省)

障がい者の自立・就労支援としては、空ケースのリサイクル支援業務に加え、全国の社会福祉施設で作ら 環境保全に対しては、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収して再資源化することで、CO2 排出量 れた小物を買い取り、空ケース回収にご協力くださったお客様へのプレゼントに。なお、空ケースのリサイ 削減に貢献。自社だけにとどまらず、学校・企業・自治体など外部の団体との協働も増加しています。 アイシティ eco プロジェクトでは、事業展開に基づく社会貢献として多様な活動を展開しています。 クルによる収益は、公益財団法人 日本アイバンク協会に全額寄付しています。

